

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	社会福祉法人 淑徳福祉会 さつきこども園	施設 種別	幼保連携型認定こども園
評価機関名	一般社団法人 京都府保育協会		

令和 7 年 3 月 5 日

総 評	さつきこども園は昭和46年に設立され、平成13年に設立母体である福知山淑徳高校の移転に合わせて現在の場所に移ってきました。福知山淑徳高校が隣接しており、その運動場等の利用や、園の奥にはヒノキ、栗、くぬぎなどの木々に囲まれた森「さつきの森」があり、四季の変化や自然豊かな環境を利用し、虫や花、土や水、風などを感じ、木登りやツリーハウスで遊ぶなど、五感や運動能力、情緒の安定に繋がる豊かな環境があるこども園です。 それらの自然体験を通して子どもの生きる力の基礎が育まれるよう努めています。子ども一人一人に応じたきめ細やかな配慮と共に、集団においても子ども相互の関係づくりや互いに尊重する心を大切にする保育実践が行われるよう取り組んでいます。 長く勤めている職員が多く、園全体の雰囲気は落ち着いており、子どもたちが過ごす日常が、おだやかで安心したものとなるよう配慮しています。園内は、園児の作品の掲示や木製遊具、煙突のある暖炉の設置など、あたたかい雰囲気があります。 法人理念として「感恩先苦」の精神を大切にしており、ありがたいの気持ちを常に持つこと、嫌な事を率先してやる気持ちを持てるよう努め、「子どものための保育」を大事に、ともに遊び、ともに感動し、ともに成長し、支援できるよう取り組んでいます。
特に良かった点(※)	● 園内は、絵本コーナー・ランチルーム・エントランススペースに、木製遊具の設置や、煙突のある暖炉に薪をくべ、炎を眺めながら暖をとれるようにするなど、ゆとりあるスペースを活用し、子どもが心地よく過ごすことが出来るよう環境を整備しています。壁面には、子どもたちの造形作品や絵画などを掲示したり、職員による様々なペイントが窓や建具等に施したりしており、あたたかな雰囲気があります。 ● 園の奥には大きな自然環境「さつきの森」があり、自然の中で子どもたちが遊べるスペースがあります。戸外活動として「さつきの森」に頻繁に出るようにし、虫や花に触れたり、砂、土、水で自由に遊んだり、泥んこ遊びや木登りやツリーハウスなどで子どもたちが没頭して遊べるようにするなど、季節を感じながら遊べる豊かな環境があります。 ● 敷地内に畑があり、子どもたちが種から野菜を育てる体験ができるようにしています。収穫野菜は、給食室職員も一緒に参加するクッキング保育で活用しています。専用のランチルームがあり、ゆったりとした空間で楽しく食事ができる雰囲気があり

	ます。ランチルームの壁には、その日の食材がひと目で分かるよう色分けされた食材の絵が掲示されています。人気メニューの給食レシピを園だよりに掲載し、給食の意図や内容を保護者に理解してもらえるよう工夫しています。
特に改善が 望まれる点(※)	● 職員自らが設定する自己目標やその振り返りが出来るよう工夫されるとより良いでしょう。 ● 保護者からの要望等に対応した内容を、園の方針に沿った取組内容として整理し、要望を申し出た保護者に配慮したうえで公表されるとより良いでしょう。 ● 保育士等の自己評価を定期的の実施し、園全体の保育実践の振り返りとなるようにし、保育の質向上に繋がれるとより良いでしょう。

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【保育所版】 評価結果対比シート

(注)判断基準「a b c」について

【平成28年度以前の基準とは異なるため、当評価結果との対比はできませんのでご留意下さい】

(a)は質の向上を目指す際の目安となる状態、(b)は多くの施設・事業所の状態、(c)はb以上の取り組みとなることを期待する状態、に改定されました。改訂後の評価基準に基づいた評価では(b)が一般的な取り組み水準となり、従前に比べて(b)の対象範囲が広がります。また、改正前に(a)であった評価項目が改正後の再受診で(a)を得られなくなる可能性もあります。

受診施設名	社会福祉法人 淑徳福祉会 さつきこども園
施設種別	幼保連携型認定こども園
評価機関名	一般社団法人 京都府保育協会
訪問調査日	令和7年3月5日

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-1 理念・基本方針	I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	1	① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	b	a
[自由記述欄]					
1: 法人理念、基本方針、保育理念、教育・保育方針、教育及び保育目標が明文化されており、園内に掲示すると共に、新入園児面接などで保護者への周知に努めています。職員には年度初めの園内研修で周知しています。					

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-2 経営状況の把握	I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	2	① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	b	a
		3	② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	b	a
[自由記述欄]					
2.3：事業経営を取り巻く状況は、福知山市の保育ニーズや地域の人口を含めた変化等について市の情報誌などで確認しています。経営状況は毎月、会計事務所からの分析・報告を受けるようにしており、保育ニーズと経営内容を把握したうえで、施設の拡充等を図っています。					

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-3 事業計画の策定	I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	4	① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	b	a
		5	② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	b	a
	I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。	6	① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a	a
		7	② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a	a
[自由記述欄]					
4.5：中・長期の事業計画と、それに伴う収支計画を策定しています。中・長期計画を踏まえた単年度の事業計画を策定しています。計画は実施状況の振り返りが行えるよう事業ごとに示されています。					
6：事業計画は職員の意見を踏まえたうえで法人役員と策定しており、実施状況や評価を含めて職員と共に確認・共有し、次の計画に反映するよう取り組んでいます。					
7：単年度の事業計画は、年度初めにアプリを利用して保護者に発信し、変更があれば、その都度アプリで知らせています。					

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組	I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	8	① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	b	a
		9	② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b	b
[自由記述欄]					
8：毎月1回開催の全体職員会議・クラス会議や、行事ごとに開催する行事会議、毎朝の朝礼に施設長や管理者は必ず出席し、日々の保育が園の方針に沿った内容となるよう取り組んでいます。					
9：毎月1回開催するクラス会議で、園の保育内容等について振り返りを行っています。今後は、そこから明確になった課題について、園全体で改善に向けて取り組めるよう仕組みを構築するとより良いでしょう。					

Ⅱ 組織の運営管理

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅱ-1 管理者の責任と リーダーシップ	Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされてい る。	10	① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図つ ている。	b	a
		11	② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	b	a
	Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮さ れている。	12	① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮してい る。	b	a
		13	② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮してい る。	b	a
[自由記述欄]					
10：施設長の役割と責任を明文化すると共に、全体職員会議で園の方針の周知や保育内容についての報告を受け、改善に繋げるよう取り組んでいます。					
11：行政からの通達など職員に影響があるものは、朝礼での周知、全職員への回覧を行い、パート職員も必ず閲覧しハンコを押すようにするなど、理解するための取組を行っています。					
12：施設長は、全体職員会議や朝礼に必ず出席するようにし、日々の保育内容について質が高まるよう取り組んでいます。					
13：毎月、会計事務所から経営内容に関する分析・助言を受けており、保育ニーズの動向を踏まえた上で施設の拡充や職員配置等の工夫に努めています。それらの内容は、地域の保育ニーズへの対応として事業計画にも反映しています。					

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成	Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。	14	① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	b	b
		15	② 総合的な人事管理が行われている。	b	b
	Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	16	① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	b	a
[自由記述欄]					
14：必要な福祉人材を確保する為に、養成校との連携など積極的な活動に努めています。今後は、人材確保に対する方針や計画を作成し、年間を通して見通しを持った活動ができるよう取り組まれるとより良いでしょう。 15：職員の適性や意向なども踏まえ人事管理を行っていますが、保育は職員間の協力が大事という思いもあり、処遇を伴った人事基準は設けていません。 16：職員の就業状況や意向の把握に普段から努めるようにしており、有給休暇取得状況や時間外労働などの管理・把握を行い、勤務内容に反映させるなど対応しています。					

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成	Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	17	① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	b	b
		18	② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	b	a
		19	③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a	a
	Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。	20	① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a	a
[自由記述欄]					
17：職員一人一人の育成に向けて、職員研修、自己研鑽の推進に関する内容を明文化しています。今後は、職員自らが設定する自己目標やその振り返りが出来るよう工夫されるとより良いでしょう。 18.19：職員の教育・研修に関する方針があり、キャリアパス制度を利用した個別の研修計画を作成しています。計画に沿って積極的に研修を受講できるよう勤務内容等についても、その配慮に努めています。 20：隣接する淑徳高校とは毎年、学年に応じた見学実習、部分実習、設定実習など提携園として実習等の受け入れを行っています。また、保育士養成校や看護師養成校などからの実習生受け入れにも積極的に取り組むべく、園として学校に訪れるなど働きかけを行っています。					

評価分類	評価項目	通番	評 価 細 目		評価結果	
					自己評価	第三者評価
Ⅱ-3 運営の透明性の確保	Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。	21	①	運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	b	a
		22	②	公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	b	a
[自由記述欄]						
21：ホームページで園の方針や概要、財務諸表等の公表を行っています。第三者評価の結果も京都介護・福祉サービス第三者評価機構のホームページで公表しています。						
22：園の経理、取引等に関するルールが明文化されており、職員に周知されています。理事に市のOBが複数名おり、毎月の会計事務所からと併せて経理内容の指導や助言を受けており、改善に繋げるよう努めています。						

評価分類	評価項目	通番	評価細目		評価結果	
					自己評価	第三者評価
Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献	Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	23	①	子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	b	a
		24	②	ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b	b
	Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。	25	①	保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	b	a
	Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。	26	①	保育所が有する機能を地域に還元している。	b	b
		27	②	地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b	b
[自由記述欄]						
23：学区地域主催の文化祭に年長児の絵画や造形作品の出展を行い、それらの内容はアプリを利用して配信しています。園外保育にも出かけており、地域との交流が促されるよう取り組んでいます。						
24：ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明文化していますが、マニュアルは作成されておらず、現在は学生の体験等以外のボランティアの希望者がいない状態です。今後は、ボランティア受け入れマニュアルを作成し、受け入れ態勢を整備されると良いでしょう。						
25：関係機関等への連絡方法を体系的に明示し、職員間で周知されています。						
26. 27：毎年実施している卒園児との交流会や、子育てサポート事業として子育て相談、育児講演会などを開催しており、地域の福祉ニーズに基づき施設機能の地域還元に取り組んでいます。今後は、災害時の地域における役割等について関連機関等との連携を含め、確認されるとより良いでしょう。						

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	28	① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	b	a
		29	② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	b	a
	Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。	30	① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	b	a
		31	② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	b	a
		32	③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	b	b

[自由記述欄]

28：年度初めの職員会議で、保育の基本姿勢や人権意識について伝えと共に、倫理綱領を園内に掲示するなど、人権等に対する理解を持つための取組を行っています。

29：園のプライバシーポリシーがあり、個人情報保護に関するマニュアルも整備し、保護者から同意書を得るようにしています。また、子どものプライバシー保護等に関する内容は年度初めの職員会議で周知に努めています。

30：保護者の園見学の際には、施設を紹介するパンフレットをもとに説明を行っています。そのパンフレットは市役所にも置いており、施設情報の提供に努めています。

31：保育の開始にあたって、保育内容等について新入園児面接で入園のしおりをもとに保護者に説明を行っています。また、年度途中で保育内容等の変更がある場合は、その都度アプリを利用し周知に努めています。

32：卒園や転園に際し、保育要録を送付し保育の継続性に配慮しています。今後は、保育の利用が終了した後も、保護者等が相談できるように担当窓口を明記されるとより良いでしょう。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	33	① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	b	b
		34	② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	b	b
		35	③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	b	b

[自由記述欄]

33：苦情解決の仕組みを整備し、園内掲示等で保護者へ周知しています。今後は、保護者からの要望等に対応した内容を、園の方針に沿った取組内容として整理し、要望を申し出た保護者に配慮したうえで公表されるとより良いでしょう。

34：年1回、全園児を対象に個人懇談を実施し、保護者の相談や意見を聞くようにしています。今後は、保護者を対象にした匿名のアンケートを実施するなど、意見の述べやすいよう複数の方法を工夫されるとより良いでしょう。

35：保護者からの相談や意見に対し、迅速に対応するよう取り組んでおり、その内容はマニュアルにそって記録し職員間で周知されるよう取り組んでいます。今後は、意見箱の設置やアンケート等の実施に取り組まれるとより良いでしょう。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。	36	① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	b	a
		37	② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a	a
		38	③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的にしている。	b	a
		39	④ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	b	b
[自由記述欄]					
36：園内の危険箇所や園外保育時の安全確認のため、ヒヤリハット報告書やマニュアルが整備されています。けがや事故等の報告書も作成しており、迅速に園内で共有するよう努め、問題点の把握と解決策の構築を施設長を中心に取り組むようにしています。					
37：感染症対策のマニュアルがあり、職員間で対応内容を共有し、予防策を行っています。また、感染症発生時には保護者にも情報提供を行っています。					
38：災害発生時の体制を構築しており、毎年、消防署と連携して確認し訓練を実施しています。また、災害時の為の食品備蓄を行っており、保存期間等を含めたリスト化を行い管理しています。					
39：不審者侵入時に対応するマニュアルを、園の実状に沿った内容で整備し、職員間で共有し毎年1回、訓練を実施しています。今後は、警察等との連携のもとでマニュアルの見直しや研修を実施されるとより良いでしょう。					

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。	40	① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	b	b
		41	② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	b	b
	Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。	42	① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	b	a
		43	② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	b	a
	Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。	44	① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a	a
		45	② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	b	a
[自由記述欄]					
40. 41：保育についての標準的な実施方法は、OJTとして実施し、毎月の全体職員会議で見直しを行っています。今後は、それらの内容をまとめた形で文書化し、職員間で共有しやすいよう工夫すると共に、それをもとに振り返りを行うとより良いでしょう。					
42：新入園児の面接に対するマニュアルがあり、それに基づいてアセスメントを実施しています。ヒアリングする内容も項目ごとに確認できるようにし、それらの情報をもとに子どもの様子と併せて指導計画を策定しています。					
43：指導計画の見直しは、各担任が行ったものをクラス会議で評価し、毎月の全体職員会議で報告・反省を行い、次の計画に活かすように取り組んでいます。					
44. 45：子どもに関する保育の記録は、園の所定の様式で記録し、毎月のクラス会議で確認・共有し、内容によっては全体職員会議で周知し、保育に反映するよう取り組んでいます。また、それらの内容は園運営システムに記録・保存し、管理規定に基づき管理しています。					

A-1 保育内容

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-1 保育内容	A-1-(1) 全体的な計画の編成	46	① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭 及び地域の実態に応じて全体的な計画を編成している。	b	a
	A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	47	① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	b	a
		48	② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	b	a
		49	③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a	a
		50	④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	b	a

[自由記述欄]

46：全体的な計画は、各年齢の代表である職員が委員となり作成・編成し、園内研修や全体職員会議で内容の周知に努めています。保護者には、全体的な計画、園の理念・方針、月の保育目標を各保育室に掲示し、保育についての共通理解が得られるよう取り組んでいます。

47：園内は、絵本コーナー・ランチルーム・エントランススペースに木製遊具の設置や、煙突のある暖炉に薪をくべ、炎を眺めながら暖をとれるようにするなど、ゆとりあるスペースを活用し、子どもが心地よく過ごすことができるよう環境を整備しています。壁面には、子どもたちの造形作品や絵画などを掲示し、職員による様々なペイントが窓や建具等に施すなど、暖かな雰囲気があります。

48：一人一人の子どもを受容するよう心掛けており、個性を尊重した保育が実践されるよう全体職員会議等で話し合い、配慮に努めています。

49：子ども一人一人に目を向け、それぞれの発達過程に応じた基本的な生活習慣の獲得を目指し、理解出来るよう働きかけるようにしており、無理なく習得できるよう支援しています。

50：園の奥には大きな自然環境「さつきの森」があり、自然の中で子どもたちが遊べるスペースがあります。戸外活動として「さつきの森」に頻繁に出るようにし、虫や花に触れたり、砂、土、水で自由に遊んだり、泥んこ遊びや木登りやツリーハウスなどで子どもたちが没頭して遊べるようにするなど、季節を感じながら遊べる豊かな環境があります。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-1 保育内容	A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	51	⑤ 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
		52	⑥ 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
		53	⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	a
		54	⑧ 障害のある子どもが安心して生活でき喜んで遊べる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	a
		55	⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	a
		56	⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a	a

[自由記述欄]

51：乳児保育（0歳児）は、ゆるやかな育児担当制を行い、一人一人の子どもの発達過程を理解するよう努め、情緒の安定を図り、生活のリズムを大切に保育を心掛けています。また、乳児室は床暖房の整備や、半分ほどのスペースが畳になっており、落ち着いた雰囲気の中で過ごせるよう配慮しています。SIDSの午睡チェックも実施しています。

52：3歳未満児（1・2歳児）は、ゆったりとした関わりの中、子どもたちが自分でしようとする気持ちに寄り添った保育実践に努めています。保育室には子どもたちの絵画や造形作品を掲示したり、直接園庭に出られるよう環境を整備するなど、興味関心に応じて発展的に活動出来るよう環境を整えています。

53：年齢に応じたおもちゃや環境を整備し、子どもたちが思い思いの遊びを楽しんでいます。なわとびや竹馬、コマ回しなどが出来る環境も整備し、伝承遊びが異年齢児の中で自然に覚えられよう取り組んでいます。保育の中では、コーナー遊びの充実や、インタビュー形式の時間を設け、子どもが自分の言葉で伝える力が持てるよう工夫すると共に、友だちの言葉をしっかりと聞けるよう促しています。「さつきの森」に出て、自由に自然の中で遊ぶ時間も多く設けるようにしており、自然を感じたり体の機能を最大限に活かして遊べるよう配慮しています。

54：障害のある子どもが安心して生活ができるよう保護者との密な連携に努め、一緒に成長の過程を感じ関わり合えるよう取り組んでいます。クラスの友だちと一緒に過ごせるよう努めており、保護者全体にも理解が促されるよう日々の関わりから発信を行っています。

55：長時間にわたる保育は、和室を利用し、ゆったりとくつろいで過ごせるよう配慮しています。また、年齢の低い子どもが落ち着けるようコーナーを設けるなど、配慮に努めており、それらの内容はマニュアルを整備し職員間で共有しています。

56：小学生との交流会があり、各学校への体験学習や給食試食会として5歳児が小学校の給食を食べに行くと共に、高学年と遊んだり、学校の事を聞く機会などを設けており、小学校以降の生活に見通しが持てるよう取り組んでいます。

評価分類	評価項目	通番	評 価 細 目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-1 保育内容	A-1-(3) 健康管理	57	① 子どもの健康管理を適切に行っている。	b	a
		58	② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a	a
		59	③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	b	a
	A-1-(4) 食事	60	① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a	a
		61	② 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	a	a

[自由記述欄]					
57：登園時や保育中の子どもの健康管理マニュアルがあり、それに沿った対応を行うと共に、保護者からの「けんこうしらべ（排便、検温、睡眠時間等の記録）」の確認や視診を実施し把握に努めています。また、毎日の朝礼で、職員間で共有すべき子どもの様子などを確認しています。					
58：年2回実施の内科健診、歯科健診の内容を「けんこうてちょう」に記録し、保護者に伝えています。保育に反映させるべき健診結果は、職員間で共有するようにしています。					
59：アレルギー疾患のある子どもへの対応は、保護者面談時に栄養士も同席するようにし、詳しい説明を行うと共に子どもに応じた除去食を提供できるようにしています。除去の内容については職員間で共有し、誤食等が発生しないようルールを決めて取り組んでいます。					
60：敷地内に畑があり、子どもたちが種から野菜を育てる体験ができるようにしています。収穫野菜は、給食室職員も一緒に参加するクッキング保育で活用しています。専用のランチルームがあり、ゆったりとした空間で楽しく食事ができる雰囲気があります。ランチルームの壁には、その日の食材がひと目で分かるよう色分けされた食材の絵が掲示されています。人気メニューの給食レシピを園だよりに掲載し、給食の意図や内容を保護者に理解してもらえるよう工夫しています。					
61：全体職員会議の中に献立会議を設け、園全体で喫食状況や献立内容について話し合う機会があり、給食内容の改善に取り組んでいます。					

A-2 子育て支援

評価分類	評価項目	通番	評 価 細 目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-2 子育て支援	A-2-(1) 家庭との緊密な連携	62	① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	b	a
	A-2-(2) 保護者の支援	63	① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	b	a
		64	② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び 虐待の予防に努めている。	b	a
	A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）	65	① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	b	b

[自由記述欄]					
62：日々の保護者対応や年1回、クラス懇談会と全園児を対象とした個人懇談を実施しています。毎日の保育の様子はアプリを利用して発信すると共に、行事や園外保育等の内容は掲示板に写真を含めて掲示しています。					
63：親子レクリエーション（川あそび・触れ合いあそび・園庭あそび・手づくりあそび）、七夕祭り、藍染め、稲刈りなどの行事を実施し、保育の内容に対し保護者と共通理解が得られるような機会を設けています。					
64：職員に対して虐待等の対応マニュアルをもとに研修を行うと共に、実際の事案に関しては全体職員会議で情報共有を行い、行政等の関連機関と連携を図り対応しています。					
65：毎月のクラス会議で保育の振り返りを実施し、次の保育に活かせるよう取り組んでいます。今後は、保育士等の自己評価を定期的実施し、園全体の保育実践の振り返りとなるようにし、保育の質向上に繋がれるとより良いでしょう。					